

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成27年11月13日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	ビジネス・ワンホールディングス株式会社
【英訳名】	Business One Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 尾崎 朝樹
【本店の所在の場所】	福岡市中央区薬院三丁目16番27号
【電話番号】	(092)534-7210
【事務連絡者氏名】	執行役員経営戦略室長 和田 敏紀
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区薬院三丁目16番27号
【電話番号】	(092)534-7210
【事務連絡者氏名】	執行役員経営戦略室長 和田 敏紀
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期 連結累計期間	第29期 第2四半期 連結累計期間	第28期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	2,140,065	2,719,624	4,436,098
経常利益 (千円)	175,343	157,311	254,116
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	124,426	124,516	171,431
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	124,426	124,466	167,922
純資産額 (千円)	1,009,681	1,167,271	1,053,177
総資産額 (千円)	6,410,435	7,332,218	6,444,926
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	29.99	30.01	41.32
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	15.8	15.9	16.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	357,915	29,295	202,593
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	180,242	410,255	256,747
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	605,822	759,585	613,100
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	592,483	998,613	678,578

回次	第28期 第2四半期 連結会計期間	第29期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.27	14.73

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費は底堅く推移し、また企業収益は明確な改善を維持し設備投資も緩やかな増加基調にあります。一部にやや慎重な動きもみられますが、総じて景況感、企業の業況感は良好な水準にあります。

また世界経済においては米国経済の回復ペース、欧州における債務問題の展開や景気・物価動向、新興国・資源国経済の動向がリスク要因として挙げられますが、先進国を中心とした緩やかな成長が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化を目的とし、各事業部門の利益確保を意識した収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,719,624千円（前年同期比27.1%増）、営業利益177,592千円（同16.7%減）、経常利益157,311千円（同10.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益124,516千円（同0.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

不動産事業

第1四半期連結会計期間に引き続き不動産任売事業が牽引し、売上高、利益の確保に貢献いたしました。また競売落札事業において継続して在庫資産の効率化が推進されました。引き続き良質な在庫資産の取得に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は1,870,421千円（前年同期比46.6%増）、セグメント利益160,445千円（同19.7%増）となりました。

マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も企業基盤の強化を図り、抜本的なインフラの再構築をすすめるとともに、新しいマンション管理の受託を目指し企業基盤の強化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は557,671千円（前年同期比1.0%増）、セグメント損失8,595千円（前年同期はセグメント損失6,969千円）となりました。

賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産を基にシナジー効果を最大限発揮し、収益につなげる事業を拡大して行っております。また事業譲受け等により一般管理物件の賃貸管理戸数も増加し、更なる基盤強化を図っております。

当第2四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は、賃貸等不動産の増加に伴い287,205千円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益は所有物件の更新等を行いましたことにより67,517千円（同11.3%減）となりました。

ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門においては、既存パッケージソフトウェアのiPad版の開発など商品ラインナップの強化が推進されました。また顧客サービスを充実させるためパッケージソフトウェアの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話サポート、バージョンアップ案内等の保守関連にも注力しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高はマイクロソフト社のOS「WindowsXP」の保守終了に伴う企業のパソコン買替需要の終息の影響を受け68,421千円（前年同期比37.3%減）、セグメント損失940千円（前年同期はセグメント利益40,348千円）となりました。

ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当第2四半期連結累計期間は融資案件の増加により、売上高は18,689千円（前年同期比178.4%増）、セグメント利益10,918千円（同170.3%増）となりました。

その他の事業

子会社から計上される経営指導料及び事務委託手数料等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は111,582千円（前年同期比1.4%増）、セグメント損失44,272千円（前年同期はセグメント損失22,377千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,783,520千円となり、前連結会計年度末に比べ780,686千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が320,034千円、販売用不動産が107,002千円、仕掛販売用不動産が304,401千円とそれぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,544,324千円となり、前連結会計年度末に比べ112,854千円増加いたしました。これは主に土地が184,403千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は7,332,218千円となり、前連結会計年度末に比べ887,292千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,895,336千円となり、前連結会計年度末に比べ578,827千円増加いたしました。これは主に短期借入金が576,585千円、1年内返済予定の長期借入金が4,710千円とそれぞれ増加したことによるものであります。固定負債は3,269,609千円となり、前連結会計年度末に比べ194,370千円増加いたしました。これは主に長期借入金が442,993千円増加し、また社債が250,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,164,946千円となり、前連結会計年度末に比べ773,198千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,167,271千円となり、前連結会計年度末に比べ114,094千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益124,516千円及び剰余金の配当10,372千円等の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は15.9%（前連結会計年度末は16.3%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は998,613千円（前年同四半期592,483千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は29,295千円（前年同四半期は357,915千円の使用）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益157,933千円の計上、のれん償却額18,470千円の計上、減価償却費28,454千円の計上がありました。営業貸付金が17,500千円、たな卸資産が155,432千円とそれぞれ増加したことによる支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は410,255千円（前年同四半期は180,242千円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が415,813千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、取得した資金は759,585千円（前年同四半期は605,822千円の取得）となりました。これは、社債の償還による支出が250,000千円、長期借入金の返済による支出が455,957千円ありましたが、新たな長期借入金による収入が903,660千円、短期借入金純増額の計上が576,585千円あったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は2,392千円であり、ソフトウェア事業における販売ソフト「消防くん」iPad版や主力商品の次期バージョンの開発など、次期成長戦略のベースとなるソフトウェアの開発活動に活かしております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,568,800
計	16,568,800

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,148,900	4,148,900	福岡証券取引所 (Q-Board)	単元株式数 100株
計	4,148,900	4,148,900	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	4,148,900	-	436,034	-	-

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社ゴー	福岡県福岡市中央区薬院3丁目16-27	834,900	20.12
平本 敏夫	福岡県小郡市	800,000	19.28
尾崎 朝樹	福岡県福岡市中央区	700,000	16.87
西武ハウス株式会社	福岡県福岡市中央区長浜3丁目16-6	327,800	7.90
株式会社九州リースサービス	福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目3-18	200,000	4.82
有限会社U・Hプランニング	福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目4-21	180,000	4.34
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	179,500	4.33
株式会社クリエイティブマ ネージメントコンサルタンツ	福岡県福岡市中央区白金1丁目4-10	100,000	2.41
大穂 義弘	福岡県春日市	100,000	2.41
内藤 建三	福岡県福岡市南区	71,300	1.72
計	-	3,493,500	84.20

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,148,900	41,489	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	4,148,900	-	-
総株主の議決権	-	41,489	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人ハイビスカスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	678,578	998,613
受取手形及び売掛金	114,109	120,576
販売用不動産	1,179,001	1,905,004
仕掛販売用不動産	-	304,401
商品及び製品	18,035	14,472
原材料及び貯蔵品	1,313	1,399
仮払金	34,312	42,123
営業貸付金	323,300	340,800
繰延税金資産	-	7,297
その他	51,181	53,372
貸倒引当金	16,000	4,539
流動資産合計	3,002,833	3,783,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,127,032	1,225,413
土地	1,968,272	2,152,676
その他	14,614	14,753
有形固定資産合計	3,256,920	3,392,843
無形固定資産		
のれん	124,209	105,739
その他	12,666	11,001
無形固定資産合計	136,875	116,740
投資その他の資産		
投資その他の資産	125,901	122,966
貸倒引当金	88,228	88,227
投資その他の資産合計	37,673	34,739
固定資産合計	3,431,469	3,544,324
繰延資産		
社債発行費	10,622	4,373
繰延資産合計	10,622	4,373
資産合計	6,444,926	7,332,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,952	48,372
短期借入金	1,469,814	2,046,399
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	370,150	374,860
未払法人税等	40,694	47,497
賞与引当金	16,000	11,000
その他	250,898	247,207
流動負債合計	2,316,508	2,895,336
固定負債		
社債	350,000	100,000
長期借入金	2,572,228	3,015,221
その他	153,011	154,388
固定負債合計	3,075,239	3,269,609
負債合計	5,391,748	6,164,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	620,653	734,797
株主資本合計	1,056,687	1,170,831
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	3,509	3,559
その他の包括利益累計額合計	3,509	3,559
純資産合計	1,053,177	1,167,271
負債純資産合計	6,444,926	7,332,218

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,140,065	2,719,624
売上原価	1,560,130	2,121,609
売上総利益	579,935	598,014
販売費及び一般管理費	1,366,790	1,420,422
営業利益	213,144	177,592
営業外収益		
受取利息	77	74
受取配当金	44	44
受取保険金	1,700	780
助成金収入	1,050	3,600
貸倒引当金戻入額	-	16,000
その他	696	5,710
営業外収益合計	3,568	26,209
営業外費用		
支払利息	37,925	37,842
社債利息	1,153	2,565
その他	2,290	6,082
営業外費用合計	41,369	46,490
経常利益	175,343	157,311
特別利益		
固定資産売却益	564	622
特別利益合計	564	622
特別損失		
固定資産除却損	104	-
貸倒引当金繰入額	21,556	-
特別損失合計	21,660	-
税金等調整前四半期純利益	154,247	157,933
法人税、住民税及び事業税	29,821	40,714
法人税等調整額	-	7,297
法人税等合計	29,821	33,417
四半期純利益	124,426	124,516
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,426	124,516

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	124,426	124,516
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	-	49
その他の包括利益合計	-	49
四半期包括利益	124,426	124,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,426	124,466
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	154,247	157,933
減価償却費	40,967	28,454
のれん償却額	26,468	18,470
賞与引当金の増減額(は減少)	6,800	5,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	21,087	11,460
受取利息及び受取配当金	121	118
支払利息及び社債利息	39,078	40,407
受取保険金	1,700	780
助成金収入	1,050	3,600
固定資産売却損益(は益)	564	622
固定資産除却損	104	-
売上債権の増減額(は増加)	24,911	6,467
たな卸資産の増減額(は増加)	538,791	155,432
仮払金の増減額(は増加)	11,979	7,810
営業貸付金の増減額(は増加)	20,005	17,500
仕入債務の増減額(は減少)	2,614	580
未払消費税等の増減額(は減少)	23,305	23,797
その他	44,179	31,099
小計	292,407	43,195
利息及び配当金の受取額	121	118
利息の支払額	37,430	42,424
助成金の受取額	1,050	3,600
保険金の受取額	1,700	780
法人税等の支払額	30,950	43,035
法人税等の還付額	-	8,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,915	29,295
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	5,000	-
出資金の払込による支出	10	30
出資金の回収による収入	-	3,000
有形固定資産の取得による支出	174,228	415,813
有形固定資産の売却による収入	1,944	2,922
無形固定資産の取得による支出	2,567	1,170
敷金及び保証金の差入による支出	534	-
敷金及び保証金の回収による収入	888	123
貸付金の回収による収入	875	712
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	11,610	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	180,242	410,255

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	20,693	576,585
長期借入れによる収入	860,000	903,660
長期借入金の返済による支出	260,738	455,957
社債の償還による支出	-	250,000
リース債務の返済による支出	2,975	3,084
割賦債務の返済による支出	2,858	1,246
配当金の支払額	8,297	10,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	605,822	759,585
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	67,664	320,034
現金及び現金同等物の期首残高	524,819	678,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,592,483	1,998,613

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 資産の保有目的の変更

前連結会計年度(平成27年3月31日)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間(平成27年9月30日)

保有不動産の一部を賃貸から転売へ保有目的を変更したことに伴い、当第2四半期連結会計期間において建物等94,178千円、土地158,230千円を販売用不動産に振替えております。

2. 保証債務

下記の会社に対し、債務保証を行っております。

		前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
株式会社ジェイ企画	銀行借入金	119,216千円	96,140千円
	計	119,216千円	96,140千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
のれん償却額	26,468千円	18,470千円
賞与引当金繰入額	13,200千円	11,000千円
貸倒引当金繰入額	438千円	4,539千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	592,483千円	998,613千円
現金及び現金同等物	592,483千円	998,613千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月12日 取締役会	普通株式	8,297	200	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月21日 取締役会	普通株式	10,372	2.50	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	その他の事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	1,227,301	538,314	250,402	105,727	6,714	11,605	2,140,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	48,680	13,973	13,038	3,399	-	98,384	177,476
計	1,275,982	552,287	263,441	109,127	6,714	109,989	2,317,541
セグメント利益又は損失()	134,026	6,969	76,110	40,348	4,039	22,377	225,178

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	225,178
のれんの償却額	26,468
セグメント間取引消去	729
その他の調整額	15,164
四半期連結損益計算書の営業利益	213,144

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	その他の事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	1,823,510	540,570	265,189	64,887	18,302	7,162	2,719,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	46,910	17,101	22,015	3,534	386	104,419	194,368
計	1,870,421	557,671	287,205	68,421	18,689	111,582	2,913,992
セグメント利益又は損失（ ）	160,445	8,595	67,517	940	10,918	44,272	185,073

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	185,073
のれんの償却額	18,470
セグメント間取引消去	4,178
その他の調整額	15,167
四半期連結損益計算書の営業利益	177,592

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（金融商品関係）

当第2四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（有価証券関係）

有価証券の第2四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（デリバティブ取引関係）

デリバティブ取引に重要性がありませんので、記載を省略しております。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	29円99銭	30円01銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	124,426	124,516
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	124,426	124,516
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,148,900	4,148,900

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

訴訟事件等について

(收受賃料等請求事件)

当社グループが行う賃貸事業につき、株式会社ピーエムジャパンと賃貸管理物件の一部譲渡の契約を締結し、1,345戸の譲渡を受けております。それに伴い賃貸物件のオーナーへの送金資金について、平成26年3月25日及び平成26年4月25日に同社からの支払遅延が発生いたしました。支払遅延が発生した当初から、継続的に同社に対し請求を行ってまいりましたが、同社より誠意ある回答が得られず回収が遅延しております。回収遅延の立替金について回収可能性を検討しました結果、平成27年3月期において全額引当処理といたしました(平成27年9月30日現在の債権額88,227千円)。

弁護士を交えた協議を受け、平成26年6月24日付で福岡地方裁判所に訴訟の提起を行い、今なお裁判手続きが続いております。

今後確定いたします裁判の結果によりましては、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

1.当事者

原告 株式会社ビジネス・ワン賃貸管理

被告 株式会社ピーエムジャパン

2.訴訟の内容及び請求の趣旨

請求内容 收受賃料等請求事件

訴訟の趣旨 被告が収受した賃料等96,191千円及び訴訟費用の被告負担並びに仮執行宣言

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月13日

ビジネス・ワンホールディングス株式会社
取締役会 御中

監査法人ハイビスカス

指定社員 業務執行社員	公認会計士	阿部 海輔	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	堀口 佳孝	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているビジネス・ワンホールディングス株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ビジネス・ワンホールディングス株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。